

Mizuho Daily Market Report

2024/6/10

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.41	156.75	+1.14	▲0.56
EUR	1.0894	1.0801	▲0.0089	▲0.0047
AUD	0.6674	0.6582	▲0.0084	▲0.0071
SGD	1.3446	1.3522	+0.0064	+0.0010
CNY	7.2433	7.2478	+0.0028	+0.0060
MYR	4.6941	4.6920	▲0.0030	▲0.0145
THB	36.37	36.50	+0.03	▲0.28
IDR	16204	16195	▲65	▲55
PHP	58.51	58.53	▲0.09	▲0.00
INR	83.40	83.38	▲0.10	▲0.09
VND	25426	25413	▲17	▲37

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.434%	+14.7 bp	▲6.5 bp
日本(10年)	0.976%	+1.2 bp	▲9.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.620%	+7.1 bp	▲4.4 bp
オーストラリア(5年)	3.935%	▲1.2 bp	▲16.3 bp
シンガポール(5年)	3.173%	▲0.7 bp	▲16.5 bp
中国(5年)	2.054%	▲0.5 bp	▲2.7 bp
マレーシア(5年)	3.653%	▲0.3 bp	▲4.2 bp
タイ(5年)	2.501%	▲0.7 bp	▲0.5 bp
インドネシア(5年)	6.847%	▲0.7 bp	▲3.9 bp
フィリピン(5年)	6.332%	▲0.8 bp	▲10.2 bp
インド(5年)	7.020%	▲1.9 bp	▲3.0 bp
ベトナム(5年)	2.120%	▲3.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,798.99	▲0.2%	+0.3%
N225(日本)	38,683.93	▲0.1%	+0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	5,051.31	▲0.4%	+1.4%
ASX(オーストラリア)	4,498.20	▲0.5%	▲0.4%
FTSEI(シンガポール)	3,330.77	▲0.0%	▲0.2%
SSEC(中国)	3,051.28	+0.1%	▲1.2%
SENSEX(インド)	76,693.36	+2.2%	+3.7%
JKSE(インドネシア)	6,897.95	▲1.1%	▲1.0%
KLSE(マレーシア)	1,617.86	+0.2%	+1.3%
PSE(フィリピン)	6,518.76	+0.1%	+1.3%
SETI(タイ)	1,332.74	+0.3%	▲1.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,287.58	+0.3%	+2.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	289.86	▲0.9%	▲0.1%
金	2,293.78	▲3.5%	▲1.4%
原油(WTI)	75.53	▲0.0%	▲1.9%
銅	9,638.42	▲4.0%	▲2.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	157.40
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2680
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16300
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は155円台後半レベルでオープン。仲値にかけて156円手前上伸するも続かず、その後は反落する流れとなった。海外時間の米雇用統計の発表を控える中、引けにかけてクロス円主導で円の買いが強まり、結局155円台前半レベルで海外時間に渡った。アジア時間のアジア通貨は概ね小幅高の動き。

海外市場のドル円は、米雇用統計結果発表を控え、方向感の無い推移が続き、155円台後半でNYオープン。注目の米雇用統計は失業率が4.0%へ上昇したものの、NFPが予想を上回り、平均時給も予想を上回り、前年比は前回分も上方修正されたことから、今週月曜の米ISM製造業景況指数結果発表以来低下していた米金利が一気に戻す展開に、ドル買いが持ち込まれ156円台後半まで上伸。その後もドル買いが継続し、157円台に乗せた後、午後は週末を控え狭いレンジでの推移が続き、クローズ時には156円台後半レベルまで戻した。

【金利】

米国時間午前の米金利は、5月非農業部門雇用者数変化が市場予想を大きく上回り強い結果となったことを受け、利上げ開始時期の先送りが一層意識されたことにより急激にベアフラット化。9月利上げ開始の可能性は50%を割り込む形となった。米国時間午後も、一段と金利上昇が進み、米10年は4.4台レベルまで上昇し引けた。

【予想】

ドル円は引き続き方向性に乏しい展開を予想。米雇用統計におけるポイントとして平均時給前月比が予想対比強含んだことでインフレ高止まりが再度意識され、市場は利下げ時期の後退を再度織込みに動いている中、ドル円については今週のFOMC・BOJを控える中ドル高円安に動かなかった印象。米FOMCで示されるドットチャートが市場予想通り今年1、2回の利下げへと変更されるか、またBOJでは短期国債買入減額についてアナウンス(円買い材料)されるか、注目される。

【本日の予定】

(日本) 1Q GDP(確)
(日本) 4月 国際収支:経常収支
(日本) 5月 景気ウォッチャー調査
(日本) 5月 銀行貸出動向
(アジア) 4月 マレーシア 製造業基本売上高 / 鉱工業生産
(アジア) 5月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) 休場 豪、中国、香港、台湾
(欧州) 6月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(米国) 5月 NY連銀1年インフレ期待
(米国) 国債入札(3Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。